

日本音楽教育メディア学会  
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)  
**JMSME News Letter**

2019.1 vol.08 <新春号>

発行：平成 31 年 1 月 15 日  
日本音楽教育メディア学会事務局  
〒125-0062 葛飾区青戸 5-5-16 (林方)  
[komadamayumi@gmail.com](mailto:komadamayumi@gmail.com)

(HP) <http://jmsme.jp/>

迎春

ご挨拶

会長 谷中優

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は学会創立通算 25 周年となり、ささやかながら記念イベントがありました。去る 8 月の研究会での二つの講座と、現在進行中の「子どもが選ぶ音と風景『すてきな音・風景』コンクール」の開催であります。これは音の環境教育でもあり、我々大人にとっても音の環境は生きることの非常に大切な要素であります。この様に Soundscape の概念は多様な分野において重要な位置を占めています。

さて平成最後となる本年は新たな年号を迎える年でもあります。私達も心新たに学会活動を進めてまいり所存であり、加えて個々の実践的研究の活性化も私どもの目指すところでもあります。つきましては皆様の本学会への変わらぬご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。最後に皆様のご健康、本会のさらなる充実と発展、世界の平和を祈念致しまして、私のご挨拶と致します。

平成三十一年元旦

## 日本音楽教育メディア学会 第 9 回研究会のお知らせ

日時 平成 31 年 2 月 3 日 (日) 13:00~16:30 (予定)  
会場 葛飾シンフォニーヒルズ 別館 2 階ビジュアルルーム  
(非会員の方は参加費 500 円をいただきます)

口頭発表 13:05~15:30

- ① 「保育表現技術としての弾き歌い集団演習の試み」 林麻由美 (東京福祉大学短期大学部)
- ② 「保育者養成における歌唱指導に関する研究」 松田扶美子 (有明教育芸術短期大学)
- ③ 「保育者養成校の学生の伝承遊びの経験について」 飯泉祐美子 (帝京科学大学)

休憩

- ④ 「大学音楽室のメディア環境と ICT 導入の可能性」 小林田鶴子 (神戸女子大学)

フリートーキング 15:30~16:30

恥ずかしながら、

「健康」の意味など深く考えた事はなかった。

昨年末、その大切さを痛感した。

病室から見える景色は、美しい青空と白い雲。

そして国道 14 号線の防音壁。遠くに見えるカーブには、車の行き来が見える。

細菌感染と虚血性腸炎を発症して 5 日、入院して 3 日。点滴生活を送りつつ、3 日振りにベッドから起き上がった。

スマホのお陰で、外界との連絡は途絶えておらず、インターネット環境も良好だ。有り難い。

比較的軽度（でも動けない）の方の部屋のためか、看護師もよく笑う。

それでも、夜中、看護師達が無言で足早に移動する気配を感じて眼が覚める。

病棟にあるのは「音」だ。

生活音、呼び出し音、点滴ポンプの停止音。一定の速度で鳴り続けるモニターの電子音。

命を繋ぐ「音」。

そこに「音楽」はない。

「音楽」のある空間に戻りたいものだ。

そこにいるためには、「健康」である必要があるのだろう。

「健康」と「音楽」、思わぬところで深い繋がりを考える年末となった。（千葉敬愛短期大学）

おどま

盆ぎり盆ぎり

盆から先や

おらんど

盆が早よ来りや

早よもどる

私（の責務）は

お盆が来るまで限りだ

お盆から先は

もうここにはいなくていい

お盆が早く来てくれれば

私は早く帰ることができる

左枠が一般的な歌詞、そしてそれを現代風に解釈してみると、右枠のようになる。

この歌は、表題の通り「子守歌」である。しかし、子どもを寝かしつけるために、「母親」や「子守り奉公の娘」が歌っているわけではなく、子守り奉公の娘が「自分に対して自分で言い聞かせる・・・つぶやき」「自分のための応援歌」なのである。一般的には六節で構成されているこの歌は江戸時代から歌い継がれてきたといわれ、当然楽譜や出版物などがなかったためそれらはさまざまに変容を遂げた。先に一般的な歌詞と述べたが、歌詞は地元の調査研究によると 70 種類以上あり、メロディー、拍子も同様、実にたくさんの「五木の子守唄」が存在しているのである。これらは口承伝承という伝承形態で広がったと思われるが、口承伝承は子守り奉公の娘だけ限定であったとは考えにくい。と、なると、この伝承には周囲の大人達も介したに違いない。どんな心情を抱いたのであろうか。（帝京科学大学教育人間科学部）

## ♪ 学会トピックス

- 子どもが選ぶ全国『すてきな音』録音・動画コンクール（主催 日本音楽教育メディア学会）

【募集期間】2019年1月1日～3月15日（当日消印有効）

【参加資格】小学生・中学生・高校生（団体応募も可）

<http://jmsme.web.fc2.com/ouboyousi.pdf>

（詳細はHPに掲載）

- 平成31年2月に「音楽教育メディア研究第5巻」を発行いたします。

## 《新会員メッセージ》

### 夢の自動伴奏

小倉 隆一郎（文教大学）

2018年度よりお仲間に入れていただいた小倉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

大学では、保育士や幼稚園・小学校教員をめざす学生を対象に、音楽と保育内容「表現」の授業を担当しています。音楽の授業では Music Laboratory システムを使って、ピアノと子どもの歌の弾き歌いレッスンをしています。最大42名のクラスがあるため、短時間で有効なアドバイスを伝えること、そして学生の自学自習の意欲を喚起する工夫を心掛けています。現在、ピアノの予習・自習を支援するアプリとして、田中功一先生らと「ピアノ演奏の見える化ツール」の開発をすすめています。

個人的には、演奏者の表現に追従する自動伴奏システムに興味をもっています。一例をあげれば、ピアノコンチェルトで、ソリストの演奏にコンピュータによるオーケストラ・パートが追従するといったシステムです。元兵庫教育大の鈴木寛先生は「連れオケ」と仰っていました。似たシステムで、クラビノーバのガイド機能がありますが、これは次の音を弾くまで伴奏を一旦停止するもので、追従はできません。自動伴奏システムに関して、昨年関係学会で「Eurydice」に出会いました。元東大の嵯峨山茂樹先生らのグループが開発するシステムですが、ソリストの弾き間違いや戻り演奏にも追従します。現時点では曲目が限られていますが、今後注目したいと考えています。また、指揮にPCのオケを追従させることができる指揮システム「VirtualPhilharmony」にも目が離せません。

数年後には定年を迎えますが、いつもワクワクできる研究テーマを持ち続けたいと思います。今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 《新会員メッセージ》

### 音楽の楽しさをもとめて

飯泉正人（茨城県牛久市立向台小学校）

2018年度より会員として入会させていただきました飯泉正人と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

音楽大学在学中はトランペットを専攻しておりました。卒業後、茨城県の公立中学校の教諭として26年間勤務した後、小学校に異動して3年目となります。

中学校に勤務していたころから力を入れてきたことは、学習指導要領解説で言われる「音楽を形づくっている要素を聴き取ることと、それらの働きが生み出すよさや面白さや、美しさを感じ取ること」を鑑賞の活動を通して行い、幅広く音楽の楽しさを体験することでした。現在は小学校にて4年生の担任をしながら、自分の学級と6年生3学級の音楽を担当していますが、小学校は、このことを学ぶ上での大切な段階であることを実感しております。

これまでの小中学校勤務の中では実践のみを繰り返すばかりでしたが、この学会に入会させていただいたことを機に、今後は、これらの実践の成果や考察を研究という切り口でまとめていけたらと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

## \*\*\*会員掲示板\*\*\*

本会員森永美穂子氏が出演



第34回ピアノ演奏会  
ヤン・ホラーク教授メモリアル

# ムジカ・ボヘミカ

2019年  
2月6日(水)

19時開演 総座席数30分  
全席前席 ¥3,500

東京文化会館小ホール  
Tel: 03-3828-2111

最上階席(10階席) 2階席(1階)  
二階席(2階) 三階席(3階) 四階席(4階)  
五階席(5階) 六階席(6階) 七階席(7階)

森永 美穂子  
李田 裕子  
松田 梨子  
大塚 由紀

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン  
Ludwig van Beethoven  
ピアノソナタ第23番ヘ短調(1807)「熱情」  
Op.57 No.3  
演奏: 松田 梨子

ロベルト・シューマン  
Robert Schumann  
ソーンの独奏会第4巻(1835)  
Op.10 No.2  
演奏: 李田 裕子

レオシュ・ヤナーチェク  
Leo Janáček  
スランカ変奏曲  
Op.12  
ピアノソナタ「1809年10月1日」  
Op.11, No.2  
演奏: 松田 梨子

ヨゼフ・スク  
Josef Suk  
マクベスの舞女操  
Op.24  
演奏: 大塚 由紀

## ~ドイツのホームコンサート~

鎌田千佳

昨年11月、ベルリン郊外のとあるお宅で開かれたホームコンサートで“動物の謝肉祭”を中心とした連弾曲を演奏しました。招待客約40名。

演奏の後は、おいしい食事と楽しい会話でクリスマス前の、気分もお腹も満たされた時間となりました。



ピアノは BECHSTEIN



## ~ご案内~

小林田鶴子先生より

音楽科教育での ICT 活用に関する意見交換会第2回を2019年2月24日(日)に開催します。

話題提供は「ICT活用で進める音楽科のディスラプションー授業・行事環境の視点からー」(小梨貴弘さん)です!

日時 2019年2月24日(日) 13:30- 17:00 場所 大東文化会館4階研修室(東武東上線「東武練馬」下車2分)

[http://www.daito.ac.jp/file/block\\_49513\\_01.pdf](http://www.daito.ac.jp/file/block_49513_01.pdf)

■話題提供 小梨貴弘(埼玉県戸田市立戸田東小学校音楽専科教諭)

「ICT活用で進める音楽科のディスラプションー授業・行事環境の視点からー」

■参加者による意見交換

ディスラプションは、従来の価値観を破壊して新しいものを創造するという意味合いを持つ言葉で、≒破壊的イノベーションです。昭和の時代から一向に変わらない音楽教育現場の手法に、ICTの活用でメスを入れていきたいという小梨さんの熱い思いがタイトルにつながっています。

-参加費無料

-お申し込み・お問い合わせ: [fukami@ongakukyouiku.com](mailto:fukami@ongakukyouiku.com) あるいはメッセージをお願いします。(深見 友紀子)

## 会費納入のお願い

本年度(H30年8月1日~H31年7月31日)の年会費7,000円の納入をお願いいたします。

《振込先①》 ゆうちょ銀行 10510-91267401 ニホンオンガクキョウイクメディアガクカイ

《振込先②》 みずほ銀行 亀有支店(店番178) (普)1293675

日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会に際しまして、又、会費についてご質問等ございましたら事務局までご相談ください。

## 事務局日より

新年明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

事務局一同、皆様のより良い活動の場を

ご提供できますよう努めてまいります。